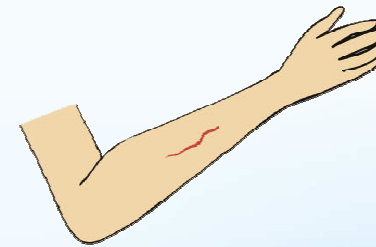
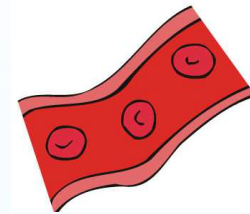


# 標準予防策とは？

全ての患者の

- 血液
- 汗を除く体液、分泌物、排泄物
- 健常でない皮膚
- 粘膜



は、感染性があるものとして対応すること

目的：病原体の感染・伝播リスクを減少させる

# 手指衛生(衛生的手洗い)のタイミング

患者に接触する前・後  
清潔・無菌操作の前  
次のものを取り扱った後

- 血液
- 全ての体液(汗を除く)・分泌物・排泄物
- 健常でない皮膚
- 粘膜

患者周辺環境に触れた後

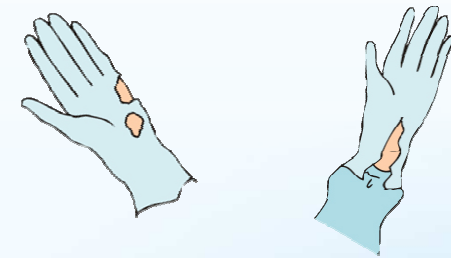


# 個人防護具の着用場面

- 血液や体液、分泌物、排泄物、粘膜、健常ではない皮膚に接触する際に、状況に応じて個人防護具を選択して使用する

# 手 袋

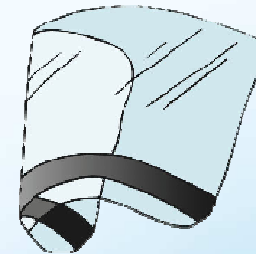
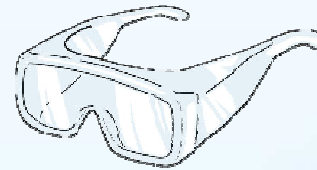
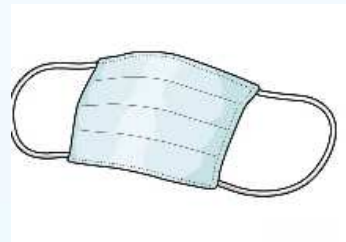
- 交換のタイミング
  - ・ ある患者の処置から別の患者の処置に移る前
  - ・ 同じ患者でも各処置ごとに
- 外すタイミング
  - ・ 使用直後
  - ・ 汚染されていない物品や環境表面に触れる前
- 手袋を外したら必ず手指衛生を行う
  - ・ 手袋を外すときに手を汚染することがある
  - ・ 手袋には微小な穴があいていることや使用中に破れることもある



# マスク ゴーグル、フェイスシールド

- 着用の目的

眼や鼻、口の粘膜を防護するために使用



- 注意点

外すときに、汚染している表面に触れない

# エプロンとガウン

- 着用の目的
  - ・ 衣服の汚染を防ぐ
  - ・ 血液や体液の曝露から医療従事者の皮膚・着衣を守る
- 注意点
  - ・ 防水性でなければならない
  - ・ 使用後、患者の部屋を離れる前に脱ぐ



# 呼吸器衛生・咳エチケット

(外来や病院入口にポスターを掲示して啓発)

呼吸器感染の徴候がある患者に以下のことを実施してもらう

- 咳やくしゃみのときは、ティッシュペーパーで口と鼻を覆う
- 使用したティッシュペーパーはすぐに捨てる
- 呼吸器分泌物に触れた後には手指衛生を行う
- 可能な限りサージカルマスクを着用する